



【テーマ2】 府立高校の教育力を向上させます

めざす方向	<ul style="list-style-type: none"> ◆グローバル社会で活躍できる人材の育成やセーフティネットの整備など社会の変化やニーズを踏まえた府立高校の充実をすすめます。 ◆キャリア教育や不登校・中途退学への対応など生徒一人ひとりの自立を支える教育を充実します。 ◆計画的な施設整備やICT環境の充実により、府立高校の教育環境の整備をすすめます。 ◆府立高校の新たな特色に応じて、中学生にとってより一層公平な入学者選抜制度とします。 ◆各校の教育内容の充実を図るとともに、将来の生徒教等を勘案した効果的かつ効率的な学校配置をすすめます。
--------------	--

社会の変化やニーズを踏まえた府立高校の充実

＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）＞	＜何をどのような状態にするか（目標）＞	＜進捗状況（H31.3月末時点）＞										
<p>■ 高校における英語力の養成</p> <p>* 骨太の英語力養成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府立高校生の英語4技能（聞く・話す・読む・書く）の引上げを行うため、府立高校7校でSET（Super English Teacher）によるTOEFL iBT(*1)を扱った授業を導入するとともに、生徒の海外研修派遣を実施します。 <p style="text-align: center;"> は、公私双方を対象とする取組み</p> <p>* 英語教育推進事業 </p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生の英語4技能の中で最も改善が必要とされるスピーキング力を向上させるため、スピーキング教材とテストの開発、スピーキング指導を推進する教員養成を行い、全府立高校において授業改善を図ります。 <p>* 英語教育施策検討会議の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員の指導力と生徒の英語力における課題と改善策について調査や検討を行い、教育効果が検証された施策方針に基づいた取組を展開することで、英語教育の推進を図ります。 	<p>◇活動指標（アウトプット）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SET配置校（府立高校7校）において生徒の「TOEFL iBTチャレンジ支援」を実施します。 ・教員へのTOEFL iBT研修を実施します（全5回）。 ・生徒の海外研修派遣を実施します。 <p>◇成果指標（アウトカム）</p> <p>（数値目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SET配置校におけるTOEFL iBT(*1)オンライン受験（※）で以下のスコアをめざします。 <li style="padding-left: 20px;">1年生：40点以上が受講者の6%以上 <li style="padding-left: 20px;">2年生：40～59点以上が受講者の35～47%、60点以上が受講者の6%以上 <li style="padding-left: 20px;">3年生：60点以上が受講者の52%以上、80点以上が受講者の6%以上 <p>※iBTオンライン練習テストを活用してスコアを把握</p> <p>◇活動指標（アウトプット）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府立高校全校において、今年度入学生より、卒業までに全3回スピーキングテストを実施します。 ・スピーキング教材およびスピーキングテストを開発します。 ・教員への夏期短期集中研修を実施します（5日間）。 <ul style="list-style-type: none"> ・学識経験者による検討委員会を設置します。 ・検討会議を開催します（4回）。 ・専門的な見地からの調査・検討を行います。 	<p>○高校における英語力の養成</p> <p>* 骨太の英語力養成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TOEFL iBT のオンラインテストに挑戦して効果測定を行う「TOEFL iBT チャレンジ支援」を府立高校7校に加え、私立6校も参加して実施した。 ・教員へのiBT研修を5回実施した。 ・生徒の海外研修派遣を7校で実施した。 <p>・SET配置校におけるTOEFL iBT オンライン受験結果</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>1年生</td><td>40点以上が受講者の68.9%</td></tr> <tr><td>2年生</td><td>40～59点以上が受講者の52.4%</td></tr> <tr><td></td><td>60点以上が受講者の14.6%</td></tr> <tr><td>3年生</td><td>60点以上が受講者の14.7%</td></tr> <tr><td></td><td>80点以上が受講者の3.8%</td></tr> </table> <p>* 英語教育推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーキング教材およびスピーキングテストを開発し、府立高校全校に配付した。 ・教員への夏期短期集中研修を実施した。 受講者数：35名 <p>* 英語教育施策検討会議の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討会議を5回実施し、専門的な見地から、平成31年度以降の英語施策について意見をいただいた。 	1年生	40点以上が受講者の68.9%	2年生	40～59点以上が受講者の52.4%		60点以上が受講者の14.6%	3年生	60点以上が受講者の14.7%		80点以上が受講者の3.8%
1年生	40点以上が受講者の68.9%											
2年生	40～59点以上が受講者の52.4%											
	60点以上が受講者の14.6%											
3年生	60点以上が受講者の14.7%											
	80点以上が受講者の3.8%											

■グローバルリーダーズハイスクール(*2)の充実

*グローバルリーダーズハイスクール支援事業

- ・10校による合同発表会や海外研修、および各校の取組みへの支援を行います。

〈スケジュール〉

4月 グローバルリーダーズハイスクール連絡協議会

7月 グローバルリーダーズハイスクール評価審議会

10～12月 評価審議委員による学校訪問

2月 10校合同発表会

2月頃 評価審議委員による校長ヒアリング

■工科高校の充実

- ・工科高校・農業高校を対象に企業や大学等との連携により、技術・技能研修の推進を図るための支援を行います。
- ・中学生や保護者に対して工科高校の魅力を伝える活動を行います。

■エンパワメントスクール(*3)の充実

- ・エンパワメントスクールにおいて、「学び直し」や「正解が1つでない問題を考える授業」、「体験型の授業」を重視したカリキュラムを編成し、教育内容の充実を図るとともに、教育効果を一層高めるため無線LAN環境や実習室等を整備します。
- また、生徒の進路実現を支援するキャリア教育コーディネーターや生活面での課題を抱える生徒をサポートするスクールソーシャルワーカー(*4)を活用します。

◇活動指標 (アウトプット)

- ・平成29年度の各校の取組みや実績について、外部有識者による評価審議会を開催し、5段階で総合評価を行います。

◇成果指標 (アウトカム)

(数値目標)

- ・国際科学オリンピックなど、国際大会（コンクール、コンテストなど）への出場者数3名以上をめざします。

(参考) 平成29年度 6名

[平成30年度の結果は6月頃公表予定]

- ・現役での国公立大学進学率を向上させます。

(参考) 平成29年度 41.5%

[平成30年度の結果は6月頃公表予定]

◇活動指標 (アウトプット)

- ・生徒・保護者対象の進路説明会などにおいて、平成28年度に工科高校魅力化推進PTが作成した工科高校PR映像を掲載したホームページや、工科高校PR用DVDなどを活用し、引き続き工科高校の魅力を発信します。

◇成果指標 (アウトカム)

(数値目標)

- ・進路決定率、学校生活満足度の向上を図ります。

- ・欠席者数、遅刻者数の減少をめざします。

(参考) 2022年度目標

進路決定率 各校95%以上

欠席者数、遅刻者数減少率 各校平均60%以上

学校生活満足度 各校80%以上

[平成30年度の結果は6月頃公表予定]

○グローバルリーダーズハイスクールの充実

- ・5名の外部有識者からなる評価審議会を開催し、各校の取組みと実績について、平成29年度の評価を実施した。

- ・7～8月に海外研修を行い、2月に合同発表会を実施した。

○工科高校の充実

- ・「企業等連携による実践的技能力育成事業」を各校が活用し、企業で活躍する技術者や、大学から高度な技術や技能の支援を受けた。

- ・中学校教員・生徒・保護者対象の進路説明会などで、工科高校PR映像を掲載したホームページや、工科高校PR用DVDなどを案内し、工科高校の魅力を伝える活動を実施した。

○エンパワメントスクールの充実

- ・1年次生を対象に実施している5教科の「学び直し授業」や「正解が1つでない問題を考える授業」の充実を図るため、授業力向上を目的とした連絡会や研修会を実施。また、キャリア教育コーディネーター(CC)やスクールソーシャルワーカー(SSW)の効果的な活用を図るため、CC、SSWを対象とした定期的な連絡会を実施。

5教科担当者連絡会 10回



エンパワメントタイム ファシリテータースキルアップ研修 4回

SSWスーパーバイザー情報交換会 6回

SSWグループスーパービジョン 2回

エンパワメントスクール生徒支援連絡協議会 2回

生徒の自立を支える教育の充実

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（H31.3月末時点）>
<p>■ キャリア教育の推進 </p> <p>* 職業教育推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門学校のノウハウを活用し、職業教育テキストを作成して授業等で使用することにより、府立・私立高校生の職業観の育成を図ります。 <p>■ 中退防止対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中退率の高い33校に中退防止コーディネーター(*5)を配置し、中高連携の推進や校内組織体制づくりをすすめます。 ・全府立高校が参加する中退防止フォーラムを開催し、中退防止に効果をあげている学校の取組みを発信します。 <p>* 課題を抱える生徒フォローアップ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な課題を抱える生徒が多い府立高校（定時制課程）4校にスクールソーシャルワーカー(*4)を配置し、学校への定着を図ります（SSW集中配置型）。 ・民間支援団体と連携して高校に居場所を設け、課題を抱える生徒を早期発見するとともに、学校が必要とする外部人材を活用し、関係機関につなぐことにより、生徒のフォローアップを行います（居場所設置型）。 <p> は、公私双方を対象とする取組み</p>	<p>◇成果指標（アウトカム） （数値目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職内定率の向上を図ります。 （参考）平成30年3月末就職内定率 （府立高校全日制・定時制） 95.1% 〔平成31年3月末の就職内定率は5月頃公表予定〕 <p>◇成果指標（アウトカム） （数値目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府立高校（全日制の課程）の中退率を1.3%以下にすることをめざします。 （参考）平成29年度 1.4% 過去5年間の平均 1.5% 過去5年間のうちの最小値 1.3% 〔平成30年度の結果は10月頃公表予定〕 ・SSW集中配置型校の平均中退率を13.6%にすることをめざします。 （参考）平成29年度 12.1% ・居場所設置型校の平均中退率を6.1%にすることをめざします。 （参考）平成29年度 7.1% 〔平成30年度の結果は10月頃公表予定〕 ・対象校の学校満足度の上昇（学校教育自己診断）をめざします。 （参考）平成29年度 64.4% 〔平成30年度の実績は5月頃確定予定〕 	<p>○キャリア教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> * 職業教育推進事業 ・キャリア教育成果発表会やキャリア教育セミナーを開催し、専門学校の教育成果の報告や高等学校の事例発表などを行った。 ・職業教育テキストを府立高校8校に配布した。 <p>○中退防止対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中退防止コーディネーターを配置している33校で、校内組織や指導体制に関する数値目標を設定し、年度末の達成状況を確認予定。 ・中退防止フォーラムを開催して、実践事例等を共有し、中退の未然防止の推進を図った。 <p>* 課題を抱える生徒フォローアップ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な生徒支援を図るため、教育庁、学校の担当者や民間支援団体の研修会を実施した。また、連絡協議会や成果発表会を開催した。 ・事業実施校には、教育庁が学校を訪問し、進捗状況を確認の上、効果的な運営方法について助言した。

活力ある学校づくりをめざした府立高校の再編整備

＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）＞	＜何をどのような状態にするか（目標）＞	＜進捗状況（H31.3月末時点）＞
<p>■府立高校の再編整備の計画的な推進</p> <p>*府立高等学校再編整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成31年度の改編に向け、施設・設備の整備、学習内容等の検討を行うプロジェクトチームの運営、中学生等へのPRを行います。 府立高校における教育環境の向上と教育内容の充実と併せて、効果的・効率的に教育活動を行う観点から適正な規模を維持しながら適正な配置を進めます。 <p>・平成31年度以降の再編整備計画を策定します。</p>	<p>◇活動指標（アウトプット）</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成31年度改編 <ul style="list-style-type: none"> 総合学科への改編 1校 機能統合による再編 2校 平成25年度に策定した再編整備計画に沿って、募集停止の対象校の検討を行います。 （参考）募集停止 <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度入学者募集時 2校 平成29年度入学者募集時 1校 平成30年度入学者募集時 1校 平成31年度入学者募集時 2校 	<p>○府立高校の再編整備の計画的な推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成31年度選抜募集時から改編する学校について「大阪府公立高校進学フェア2019」などの機会を活用して中学生等へのPRに努めた。また、改編のための様々な準備作業を進めた。 令和2年度から開校、改編する学校を教育委員会会議にて決定し、公表した。 〈統合整備を行う学校〉 <ul style="list-style-type: none"> 多部制単位制高校として開校 → 勝山高校、桃谷高校多部制単位制Ⅰ部・Ⅱ部 〈改編する学校〉 <ul style="list-style-type: none"> 工科高校を改編（1学年6学級35人編制とし、PBL導入などの教育内容の充実を図る） →今宮工科高校、藤井寺工科高校、佐野工科高校 2019（平成31）年度から2023年度までを計画期間とする次期再編整備計画の策定の手続きを進め、教育委員会会議にて決定し、公表した。